



「夢・笑顔・活気」あふれる宇都宮

2019年8月5日

# 高橋ひでき活動通信 Vol.3

発行：全国本田労働組合連合会 栃木地協

住所：〒321-3395 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台6-1 本田技研労働組合 エンジニアリング支部内 電話番号：028-677-5526

## いよいよ議員活動スタート



平成31年4月23日当選証書付与式  
宇都宮市役所にて

盛夏の候、皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より「高橋ひでき」の活動に対しまして、ご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。四月の宇都宮市議会議員選挙において、初当選をさせていただき、宇都宮市議会議員としての活動をスタート致しました。

先日開催されました、令和元年六月定例議会において初登壇を果たし、これまで皆さまからいただきましたご意見・ご要望などを踏まえ、市民目線で一般質問を行いましたのでご報告させていただきます。

今後も様々な取り組みを通じて「夢・笑顔・活気」あふれる宇都宮を目指し、組織内議員としての役割・責任をしっかりと果たしていきたいと思っております。

引き続きのご支援、ご協力をお願い致します。



宇都宮市議会議員

高橋 ひでき

|      |  |       |  |
|------|--|-------|--|
| 所属会派 | 市民連合（宇都宮市議会第2会派）   | 議席番号  | 12番                                    |
|      | <b>51万市民の暮らしを守る力に</b><br>当会派は、社会環境が刻々と変化中、市民の皆様にも最も身近な基礎自治体の役割として、生活者の暮らしを守り、健全財政を維持しつつ積極果敢な行政運営を求め、本市のまちづくりにおける具体的な政策提言を積極的に行っています。 | 常任委員会 | 総務常任委員会                                |
|      |  | その他   | 広報広聴委員会、交通安全審議会、次世代技術を生かしたまちづくり調査特別委員会 |

## 高橋ひでき 初登壇果たす！

議会  
報告



### 令和元年6月議会報告 一般質問（抜粋）



1. 交通安全について
2. LRTについて
3. 大谷地域の振興について
4. スマートモビリティを活用したまちづくりについて
5. JR宇都宮駅東口に隣接する繁華街における治安の確保と景観の形成について
6. 保育行政について
7. 自転車のまち宇都宮の推進について
8. 冠水・溢水対策について

| 質問 | 回答 |
|----|----|
|----|----|

#### 4. スマートモビリティを活用したまちづくりについて

スマートモビリティを活用することで、高齢者の移動手段の確保や渋滞対策にもつながるものと考えますが、スマートモビリティを活用したまちづくりについて、市の考えを伺う。



本年5月、ICTなどを利用して観光や交通、モビリティなどの課題解決と最適化を目指す「スマートシティうつのみや」の取り組みが、国のスマートシティモデル事業に採択された。その中で、スマートモビリティや観光型MaaSの導入に取り組んでいくこととしており、将来的には公共交通の運転手不足などの課題が解消され、バス路線の増便や運行時間帯の拡大など、公共交通が充実するとともに鉄道駅やLRTの停留場から目的地までのラストマイルを支える交通手段が充実することで、高齢者をはじめとした市民の移動利便性が向上し、中心市街地や観光地等の賑わいの創出が図られるなど、まちづくりへの多様な効果が期待されている。このため、今後はスマートシティモデル事業を着実に推進することにより、高齢者の移動手段の確保や渋滞対策に加え、賑わいの創出や経済の活性化など、スマートモビリティをまちづくりに有効に活用していく。

ICT：Information and Communication Technology（情報通信技術）  
MaaS：Mobility as a Service（すべての交通手段による移動サービス）

#### 6. 保育行政について (1) 幼児教育無償化への対応について

子ども・子育て支援事業計画の改定に向け、幼児教育無償化の影響も含めてニーズ調査を実施しているものと認識しているが、本年10月以降、無償化の影響をどの程度見込み、その見込みに対して保育の質を確保しながら、どのように対応していくのか見解を伺う。



幼児教育無償化に関する設問などを設けたニーズ調査を昨年12月に実施した。

この調査結果から、幼児教育無償化や女性の就業率上昇等により保育の利用希望者は増加する一方、出生数の減少により保育需要の総数は幼児教育無償化後も年間12,000人と現計画とほぼ同程度で推移すると見込んでおり、このうち約3%の400人程度が幼児教育無償化を理由として保育所等への入所を考えているものと試算している。

こうしたことから、継続的な待機児童の解消や局所的な保育ニーズに適切に対応していく必要があり、特定の地域や施設における受け入れ枠の拡大に向けた方策など、中長期的な保育ニーズを見据え、より効果的で効率的な供給体制の整備のあり方について検討を進めている。

今後とも、必要とする保育サービスを利用したいときに利用できる保育環境の整備に向け取り組んでいく。

#### (2) 保育士等の育成・確保に向けた取り組みについて

①安定的な保育の受け皿確保に向けては、新たな保育士の育成や潜在保育士の復職促進が重要だと考えるが、将来の保育人材のための意識醸成につながるこれまでの取り組みの実績について伺う。

子育てサロン等における中・高校生と乳幼児の交流事業では、毎年約300人程度の参加をいただいているほか、高校生などを対象に市内の保育所等において保育士の仕事を1日体験してもらう「保育体験会」では、平成29年度から2年間で27施設にご協力いただき、延べ104名に参加いただいた。

こうした取り組みから、多くの参加者に保育の仕事への理解や興味を持ってもらえ、将来保育士になりたいという声もあがっている。



## 質 問

## 回 答

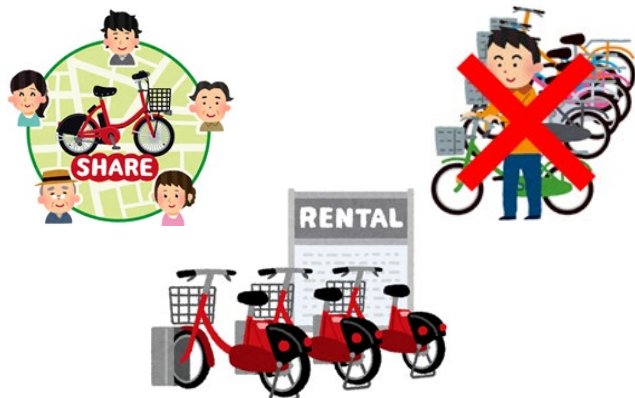
- ②地域型保育事業等の担い手となる子育て支援員を養成するための研修を県と共催している。  
今後もより多くの方に受講してもらえよう、開催頻度の拡充など、対応を検討すべきと考えるが見解を伺う。



平成27年度に「子ども・子育て支援新制度」が施行されたことに伴い、子育て支援員の養成を目的に研修会を本市単独で開催してきたが、研修機会の拡充や多岐にわたるカリキュラムを効果的に実施するため、平成28年度より県と共催している。  
受講者アンケートや実績を踏まえた開催スケジュールの設定により、平成30年度は県央会場の定員を100名から130名に拡大するとともに、定員を超える受講者を可能な範囲で柔軟に受け入れてきた。  
今後も、より多くの方が必要な研修を受けられるよう県と連携し対応していく。

### 7. 自転車のまち宇都宮の推進について

シェアサイクルの導入は、放置自転車の削減やLRT乗車率の向上につながると考えるが、現時点の検討状況も含め見解を伺う。



平成15年度より、通勤・通学や観光などにおける自転車利用者の利便性、市内の回遊性向上を図るため、市営駐輪場8箇所において、全ての貸出場所で返却可能なレンタサイクル事業を有人管理で実施しており、昨年度の利用者数は約4万9千人と一定の成果を上げている。  
近年、ICTを活用し無人管理で24時間利用可能なシステムを導入している自治体が増加していることから、本市のレンタサイクル事業のサービス水準の向上を図るため、システムの利便性や費用面などの事業効果について情報収集を行ってきた。  
その結果、各駐輪ポートでの貸出・返却による自転車の偏りや利用料金の価格設定など運営上の課題が明らかになった。  
今後は、他市の運営状況や民間事業者への情報収集を継続的に実施するとともに、今年度実施する「自転車のまち推進計画後期計画」の改定に向けた基礎調査の中で、利用者へのヒアリングを行うなどICTの活用も含め、既存レンタサイクル事業のサービス向上策と合わせて、本市にふさわしいシェアサイクル事業について検討していく。



## 「高齢運転者対策の強化を求める意見書」を提出

昨今、全国各地で多発する高齢運転者による交通事故を受け、高齢運転者の交通事故対策は喫緊の課題となっていることから、宇都宮市議会として、高齢運転者対策の強化を推進するよう国に強く要望するため、意見書を提出しようとするものであります。

### 高齢運転者対策の強化を求める意見書（抜粋）

#### 記

1. 認識しやすい道路標識や路面標示の整備、逆走防止設備の設置等、高齢運転者による交通事故を未然に防ぐための効果的な対策を強化すること。
2. 地方公共団体が行う、運転免許証の自主的な返納を促す取り組みに対する支援策を推進するとともに、年齢や身体的機能に合わせた免許制度の構築を図ること。
3. 高齢者の生活支援の観点も含め、安心して移動できる公共交通体系の確保、維持に向けた取り組みに対して、財政支援の拡充を図ること。
4. 先進安全自動車（ASV）の普及および自動運転技術の開発を促進するとともに、高齢者に対する費用負担の軽減措置を講ずること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

令和元年7月3日

宇都宮市議会





# 地域の困りごと改善報告

## 瑞穂台小学校通学路の安全対策を実施しました。

### 改善前

注意喚起を呼びかける看板を固定しているワイヤが切れ看板が下に落ちている。



- ・車道側に倒れてくる危険性がある。
- ・ドライバーの視線に入らないため注意喚起の役割を果たしていない。



### 改善後



ドライバーから見やすい位置に取り付け。



看板の文字が消えている。



新しい看板を設置。

## 活動実績 (5月・6月・7月)

### 5月 (May.)



- 4月23日 当選証書付与式
- 24日 本田技研労組EG支部職場委員会  
自動車総連栃木地協幹事会
- 26日 全本田労連栃木地協幹事会
- 27日 連合栃木メーデー中央大会
- 5月11日 自動車総連栃木地協ナイスハート
- 14日 本田技研労組中央委員会
- 15日 HTFT労組職場委員連絡会
- 16日 本田技研労組栃木研究所支部執行委員会
- 20日 連合栃木執行委員会
- 22日 臨時議会
- 26日 全本田労連栃木地協映画まつり
- 27日 本田技研労組栃木支部  
ステップアップセミナー  
ATJ労組あいさつ運動
- 29日 本田技研労組栃木支部職場委員会
- 31日 自動車総連栃木地協地域集会

### 6月 (Jun.)



- 1日 宇都宮市消防団操法大会
- 5日 本田技研労組栃木支部新組セミナー
- 6日 本田技研労組栃木研究所支部職場委員会
- 14日 本会議 (開会)
- 19日 ケーヒン労組あいさつ運動
- 20日~25日 本会議 (一般質問)
- 26日 常任委員会、広報広聴委員会
- 28日 議員協議会  
本田技研労組栃木支部職場委員会

### 7月 (Jul.)



- 3日 本会議 (閉会)
- 10日 ホンダロック労組あいさつ運動
- 13日 宇都宮市水防訓練
- 17日 HTFT労組職場委員連絡会
- 22日 モビリティランド労組役員セミナー
- 23日~25日 会派視察
- 27日 日本電産エリシス労組中央委員会
- 31日 ケーヒン労組あいさつ運動  
ユタカ技研労組語る会



## 後援会事務所の住所が変わりました。

この度、後援会事務所を本田技研労働組合エンジニアリング支部内に移転致しました。つきましては、下記の通り住所が変わります。

### 新住所

〒321-3395 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台6-1  
本田技研労働組合エンジニアリング支部内

なお、電話番号については、変更ありません。

TEL 028-677-5620

引き続きのご支援、ご協力を宜しくお願い致します。



ご意見・ご要望をお待ちしております。

